



ライセンス情報(SETINIT)適用の手引き

UNIX版 SAS 8.2 (TS2M0)編

1 はじめに

この文書は「SAS 8.2 UNIX版」にライセンス情報(SETINIT)を適用する方法の説明をしています。なお、トライアル・セットユニットおよびカスタマー・セットユニットとも、本書で解説する共通の適用方法でご利用いただけます。

1.1 SASの用語

以下の用語は、SASに関連する特別な用語です。ライセンス適用作業を円滑に進めるため、ここでその意味を説明します。

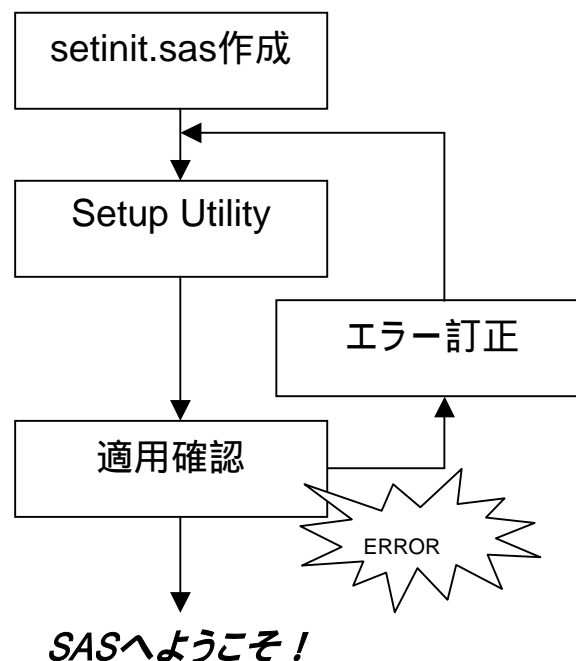
□ **SASROOTディレクトリ**

SASをインストールするディレクトリです。本書では、このディレクトリを!SASROOT と記述しています。なお、本書の中では、コマンドラインの例でパスを指定する際に、一部!SASROOT と記述していますが、実際には、ご使用の環境に合わせてSASをインストールしたディレクトリに置き換えて入力してください。

□ **SETINIT**

SASを利用する上で必要なソフトウェアライセンス情報です。SASを利用可能にするために、このライセンス情報を適用する必要があります。

1.2 ライセンス情報適用作業の流れ (Setup Utility)



2 ライセンス情報(SETINIT)適用手順(1)

ライセンスの適用方法は、2種類あります。通常は、Setup Utility を用いてライセンス情報を適用してください。コマンドラインを用いて適用作業を行う場合は、「4 ライセンス情報(SETINIT)適用手順(2)」(P.10)を参照してください。ライセンス情報は、新しいものを受け取った際に、適用作業を行ってください。

(注意) ライセンス情報の編集および適用は、必ずSASの管理者が行ってください。

ライセンス情報(SETINIT)を適用する方法は以下のとおりです。

2.1 SETINITファイルを作成または修正します。

E-mailで受け取った場合は、FTPのText転送などにて任意のディレクトリに保存してください。

SETINITの情報を手入力する場合は、タイプ・ミスがないよう正確に行ってください。

(参考) オリジナルのSETINITファイルは !SASROOT/setinit.sasです。

このファイルをもとにして、修正を行うことができます。

2.2 !SASROOTディレクトリ内のファイルの更新権限を持つユーザで、SAS Setupを起動します。

```
# !SASROOT/sassetup
```

(注意) 次の手順では !SASROOT を /usr/local/sas82 としています。

ご使用の環境にあわせて読み換えてください。

(注意) 本書ではスーパーユーザ(root)で適用及び確認作業を行っていることを想定しています。

以下のような画面が表示されます。

SAS Setup起動画面
(SAS System Installation Setup)

```
SAS System Installation Setup

Welcome to SAS Setup, a menu driven application used to install
and maintain the SAS System. SAS Setup is fully documented in
the installation instructions included in your installation
package. Online copies of the enclosures can be found in the doc
directory on the installation media, or in !SASROOT/doc once the
system is installed.

Some conventions used throughout SAS Setup are:
    * indicates the default menu selection
    [ ] indicates the default prompt or menu choice
    ( ) indicates a menu item is not selectable
    H, H#, #H displays help for a menu or prompt
    G go back to a previous menu or prompt
    Q quits SAS Setup at any point

Press <Return> to continue... [リターン]
```

リターンキーを押してください。

なお、SAS Setupの中で使われる記号については、以下を参照してください。

記号	説明
*	メニューにおける標準選択を示します。
[]	プロンプトにおける標準選択を示します。値を入力せずにリターンキーを押した場合、この値が採用されます。
()	選択することのできないメニュー項目を示します。実行するために必要な段階を全て実行し終わると、この丸カッコが外れます。
H, H#, #H	メニューまたはプロンプトのための、ヘルプを表示します。
G	1つ前のメニューまたはプロンプトに戻ります。
Q	任意の段階で、SAS Setupを終了します。

メインメニュー
(SAS Setup Primary Menu)

SAS Setup Primary Menu

1. Load Software from Media
- * 2. Run Setup Utilities
3. Quit SAS Setup

g: Goback q: Quit h: Help

Action ? [1] 2 [リターン]

2の「Run Setup Utilities」を選択します。

Setup Utilityの実行
(Run Setup Utilities)

Run Setup Utilities

- * 1. Perform SAS System Configuration
2. Perform Product Specific Configuration
3. List Previously Installed Products

g: Goback q: Quit h: Help

Action ? [1] 1 [リターン]

1の「Perform SAS System Configuration」を選択します。

SASの構成
(SAS System Configuration)

SAS System Configuration

```
-----  
  1. Create New Config Files  
  2. Patch the SAS Executable Image  
*  3. Apply SETINIT to Authorize the SAS System  
  4. Update SAS Registry Information  
  5. Run Installation Tests  
  6. Create the SAS online Help Indices  
  7. Configure User Authorization  
-----  
g: Goback   q: Quit   h: Help  
-----  
Action ? [1] 3 [リターン]
```

3の「Apply SETINIT to Authorize the SAS System」を選択します。

SETINITを適用する場所の指定

```
Enter the directory path of the SETINIT information file to apply:  
[/usr/local/sas82/setinit.sas]
```

作成もしくは編集したSETINITファイルのパスを指定し、Returnキーを押します。

以下のような画面が出ます。

```
The SETINIT information from  
  /usr/local/sas82/setinit.sas  
  
will be applied for the following directory.  
  /usr/local/sas82/  
  
Please wait...  
  
A backup copy of file:  
  /usr/local/sas82/sashelp/core.sas7bcacat  
  
has been made to:  
  /usr/local/sas82/sashelp/core.sas7bcacat_020528.000  
  
SETINIT application is complete.
```

SETINITが適用されたら以下の順でSetup Utilityを終了します。

SAS System Configuration

-
1. Create New Config Files
 2. Patch the SAS Executable Image
 3. Apply SETINIT to Authorize the SAS System
 4. Update SAS Registry Information
 - * 5. Run Installation Tests
 6. Create the SAS online Help Indices
 7. Configure User Authorization

g: Goback q: Quit h: Help

Action ? [5] q [リターン]

Do you want to exit the SAS installation? [N]

Y [リターン]

Exiting SAS Setup...

qの「quit」を選択し、「Do you want to exit the SAS Installation」との表示が出たらYを入力し、Setup Utilityを終了します。

3 ライセンス情報(SETINIT)適用時のエラー・ログ参照方法について

本章では、第2章で解説したSetup Utilityを用いたライセンス情報の適用が失敗した際に、エラー・ログを参照する方法を紹介します。

3.1 ログファイルのあるディレクトリに移動します。

(注意) !SASROOT は、SASをインストールしたディレクトリに置き換えてください。

```
# cd !SASROOT/.install/logs
# ls al
```

3.2 エラーの出たSetup Utilityのスクリーン・ログを確認し、次のコマンドで内容を表示させてください。なお、スクリーン・ログのファイル名は、例えば2002年6月5日にライセンス情報を適用した場合、screen_log_020605.xxx (xxxは適用した回数)と表示されます。

```
# view screen_log_[yymmdd].xxx
```

表示されているログをスクロールして、「ERROR:」以下のメッセージ内容を確認します。

例

```
ERROR:
An error occurred during the SETINIT authorization process.
Please check the following log files for messages:

!SASROOT/.install/setinit.log_[yymmdd].xxx
```

3.3 !SASROOT/.install/setinit.log_[yymmdd].xxxの中を確認します。

```
# view !SASROOT/.install/setinit.log_[yymmdd].xxx
```

SETINITのログの内容が表示され、エラーがある場合は「NOTE:」に原因が示されています。

3.4 誤っている箇所を修正し、再度Setup Utility を実行します。その後、SASが起動できるかを確認します。

```
# cd !SASROOT
# ./sas -nodms
```


次の画面が表示されればSASの起動ができています。

```
NOTE: Copyright (c) 1999-2001 by SAS Institute Inc., Cary, NC, USA.  
NOTE: SAS (r) Proprietary Software Release 8.2 (TS2M0)  
      Licensed to SAS INSTITUTE JAPAN LTD. - TRIAL INSTALLATION, Site  
      0009133028.
```

```
NOTE: This session is executing on the SunOS 5.7 platform.
```

```
This message is contained in the SAS news file, and is presented upon  
initialization. Edit the files "news" in the "misc/base" directory to  
display site-specific news and information in the program log.  
The command line option "-nonews" will prevent this display.
```

```
NOTE: SAS initialization used:  
      real time          1.05 seconds  
      cpu time           0.12 seconds
```

1?

続いて次のプログラムを入力後サブミットし、ライセンス情報の期限日付を確認してください。詳しくは「5 ライセンス情報(SETINIT)の適用確認」(P.13)を参照してください。

```
Proc setinit; run;
```

3.5 次のコマンドを入力し、SASを終了します。

```
endsas ;
```

(注意) 上記は、**英語版**SASの起動確認方法です。

DBCS版、日本語EUC版、日本語SJIS版の起動確認を行う場合、お使いの環境に応じて下記のコマンドをご使用ください。

言語	起動コマンド
英語版	sas -nodms
DBCS版	sas_dbcs -nodms

Solaris, Tru64 の場合

言語	起動コマンド
日本語EUC版(標準)	sas_ja -nodms
日本語SJIS版	sas_ja.sjis -nodms

AIX, HPUX の場合

言語	起動コマンド
日本語SJIS版 (標準)	<code>sas_ja -nodms</code>
日本語EUC版	<code>sas_ja.euc -nodms</code>

4 ライセンス情報(SETINIT)適用手順(2)

4.1 ユーザの確認

SASをインストールしたユーザ、もしくはスーパーユーザ(root)に変更します。

4.2 E-mailで送付されたライセンス情報をFTP転送する、または、FAX、書面などで送付されたライセンス情報に従ってsetinit.sas (テキストファイル)を作成し、SASがインストールされたディレクトリ(以下、!SASROOT)に保存します。

(注意) setinit.sasファイルを作成しただけでは、ライセンス情報は更新されません。必ず、適用作業を行ってください。

setinit.sas 作成時のタイプ・ミスには十分ご注意ください。

4.3 カレントディレクトリをSASがインストールされているディレクトリに移します。

```
# cd !SASROOT
```

4.4 ライセンス適用のコマンドを実行します。

```
# ./sas -setinit -sashelp ./sashelp setinit.sas
```

4.5 生成されたログにERRORがないか確認します。

```
# grep ERROR: setinit.log
```

ERRORがない場合、英語版SASのライセンス情報の適用が成功しました。

また、ERRORが表示されなくとも更新されていない場合がありますので、必ず「更新しました」というメッセージがあることを確認してください。

ERRORがある場合、setinit.log を確認する必要があります。

作成した setinit.sas に誤りがある可能性があります。「6 ライセンス情報(SETINIT)適用時に発生する一般的なエラーメッセージ」(P.14)を参考に、再度確認してください。

なお、ログファイル上には、「NOTE:」「WARNING:」などが表示されている部分もありますが、適用後のSASの動作に支障はありません。

4.6 順次以下のコマンドを実行します。(日本語版 < EUC版、SJIS版 >)

```
# ./sas -setinit -sashelp ./nls/ja/sashelp setinit.sas
```

お使いの環境に応じて以下のコマンドも実行してください。

Solaris, Tru64の場合

```
# ./sas -setinit -sashelp ./nls/ja.sjis/sashelp setinit.sas
```

AIX, HPUX の場合

```
# ./sas -setinit -sashelp ./nls/ja.euc/sashelp setinit.sas
```

(注意) コマンドが長いので、タイプ・ミスをしないように注意してください。

(注意) インストール時の言語環境によっては、./nls/ja/または、./nls/ja.sjis/、./nls/ja.euc/が存在しない場合があります。その場合には、前述のコマンドを実行する必要はありません。

4.7 SASが起動できることを確認します。

```
# ./sas -nodms
```

正しく起動できると、以下のように表示されます。

```
NOTE: Copyright (c) 1999-2001 by SAS Institute Inc., Cary, NC, USA.
NOTE: SAS (r) Proprietary Software Release 8.2 (TS2M0)
      Licensed to SAS INSTITUTE JAPAN LTD. - TRIAL INSTALLATION, Site
      0009133028.
NOTE: This session is executing on the SunOS 5.7 platform.

This message is contained in the SAS news file, and is presented upon
initialization. Edit the files "news" in the "misc/base" directory to
display site-specific news and information in the program log.
The command line option "-nonews" will prevent this display.

NOTE: SAS initialization used:
      real time          1.05 seconds
      cpu time           0.12 seconds

1?
```

続いて、「5 ライセンス情報(SETINIT)の適用確認」(P.13)に基づいて、ライセンス情報の適用確認を行ってください。

(注意) 上記は、**英語版SAS**の起動確認方法になります。

DBCS版、日本語EUC版、日本語SJIS版を確認するには、お使いの環境に応じて下記のコマンドをご使用ください。

言語	起動コマンド
英語版	sas -nodms
DBCS版	sas_dbcs -nodms

Solaris, Tru64 の場合

言語	起動コマンド
日本語EUC版(標準)	sas_ja -nodms
日本語SJIS版	sas_ja.sjis -nodms

AIX, HPUX の場合

言語	起動コマンド
日本語SJIS版 (標準)	<code>sas_ja -nodms</code>
日本語EUC版	<code>sas_ja.euc -nodms</code>

5 ライセンス情報(SETINIT)の適用確認

SASを起動し、次のプログラムを入力します。

```
proc setinit; run;
```

正常に適用されていた場合、以下のようなメッセージがログウィンドウに出力されます。
(この例は、トライアル・セットユニットを適用した場合)

```
1? proc setinit; run;

元のサイト確認データ
サイト名 : 'XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX'.
サイト番号 : NNNNNNN.
期限日付 : 31OCT04.
猶予期間 : 30 日間 (30NOV04 に停止 ).
警告期間 : 30 日間 (30DEC04 に停止 ).
システム生成日付 : 23NOV92.
オペレーティングシステム : SUN 4 .
プロダクト期限日付 :
---ACCESS TO R3                30JUN02 (CPU A)
---BASE PRODUCT                30JUN02 (CPU A)
---SAS/STAT                    30JUN02 (CPU A)
---SAS/GRAPH                   30JUN02 (CPU A)
---SAS/ETS                     30JUN02 (CPU A)
---SAS/FSP                     30JUN02 (CPU A)
---SAS/AF                      30JUN02 (CPU A)
---SAS/SHARE                   30JUN02 (CPU A)
---SAS/ASSIST                  30JUN02 (CPU A)
---SAS/CONNECT                 30JUN02 (CPU A)
---SAS/TOOLKIT                 30JUN02 (CPU A)
---SAS/ENGLISH                 30JUN02 (CPU A)
(以下省略*)
```

* これ以降のログには、プロダクトと期限日付が列記されます。

以上で、ライセンス情報(SETINIT)の適用確認は終了です。次のコマンドでSASを終了してください。

```
endsas;
```

これで、SASを利用する環境が整いました。

6 ライセンス情報(SETINIT)適用時に発生する一般的なエラーメッセージ

本章では、ログに出力される一般的なエラーメッセージを紹介しています。

SASのインストール作業中にエラーが発生した場合、SASを起動する前に、エラーメッセージと正しくインストールするための方法が表示されます。エラーがSASの起動中、または環境設定中に起きた場合には、エラー内容が画面に表示されるメッセージ及びインストールログに書き出され、SAS Setup から戻り値によってエラーが示されます。エラーが発生した場合は必ず、エラー内容、メッセージ及びインストールログを確認してください。

なお、Setup Utilityを用いた場合のインストールログは、!SASROOT/.install/logs ディレクトリの下、!SASROOT/.install/logs_sh ディレクトリの下、あるいは !SASROOT/.install/sas ディレクトリの下に生成されます。コマンドラインを用いてインストールした場合は、!SASROOT/setinit.logを参照してください。

ERROR: Incorrect information was entered for PROC SETINIT. All information must be entered exactly as it appears on the PROC SETINIT data

ERROR: PROC SETINIT で入力した情報に誤りがあります。SAS インスティテュートジャパンから受け取った PROC SETINIT データの全情報を正確に入力して下さい

ERROR:「パスワードXXXXXXXXXに無効な情報があります」

入力したsetinit.sas にタイプミスがあります。エラーでは、パスワードに無効な情報があると表示されていますが、setinit.sas のどこかにタイプミスがあると考えられます。その部分を修正して、再度適用作業を行ってください。

なお、特にタイプミスが多いのは、以下のパターンです。

- * プロダクト名 (INTRNET / SPECTRAVIEW / SASOLAPSEVR / IntrNet Compute Services)
- * 数字の '0'(ゼロ) とアルファベットの'O'(オー)

ERROR: Assign for SASHELP.CORE catalog failed during SAS System initialization.

ERROR:「オプションの初期化を行うには CORE カタログが見つかりません」

適用コマンドの -sashelp オプションに指定したSASHELP ディレクトリが間違っています。SETINIT を適用するときは、!SASROOT ディレクトリをカレントディレクトリとしてください。

FATAL: Unable to initialize the options subsystem.

FATAL: オプションサブシステムを初期化できません。

このメッセージは、「WORKライブラリに指定されているディレクトリが無効」「WORKライブラリの容量が一杯である」「WORKライブラリの書き込み権限が無い等の原因で正常に作成ができない」場合などに発生します。一度、WORKライブラリに指定されているパス・ディレクトリが存在するパーティションの容量と権限を確認してください。なお、暫定的にWORKディレクトリを変更する場合、以下のように'-WORK'システムオプションを使用して、有効なディレクトリを指定ください。

```
# ./sas -work /tmp -setinit -sashelp ./sashelp setinit.sas  
# ./sas_ja -work /tmp -setinit -sashelp ./nls/ja/sashelp setinit.sas
```

お使いの環境に応じて以下のコマンドも行ってください。

Solaris, Tru64 の場合

```
# ./sas_sjis -work /tmp -setinit -sashelp ./nls/ja.sjis/sashelp setinit.sas
```

AIX, HPUX の場合

```
# ./sas_euc -work /tmp -setinit -sashelp ./nls/ja.euc/sashelp setinit.sas
```


7 ライセンス期限失効のメッセージ

ライセンス期限が失効している時には次のようなメッセージが表示されます。
(表示されている日付は参考例です。)

7.1 失効後30日目まで(猶予期間)

エラーは表示されません。

7.2 失効後31日目～60日目まで(警告期間)

起動時には、以下のようなメッセージが表示されます。

```
WARNING: SAS システムのライセンスは February 1, 2002 ( 30 日後)に切  
れます . 導入担当者に連絡して下さい .  
この日付よりSASシステムは動かなくなります .
```

以後各ステップを処理するごとに、以下のメッセージが表示されます。

```
WARNING: BASE PRODUCT (FORMAT を含むプロダクト)の契約期間が 30  
日以内に切れます . SAS導入担当者に連絡して下さい .
```

7.3 有効期限失効から61日目以降

下記メッセージが表示され、起動できません。ライセンス情報を入手して、更新してください。

```
ERROR: SAS システムの使用期限日付を越えています . 現在日付はTuesday, May  
31, 2002ですが,使用期限はFriday, February 1, 2002です .  
SASインスティチュ - トジャパンに連絡して下さい .  
FATAL: オプションのサブシステムを初期化できません .
```

8 テクニカルサポートサービス

SAS Institute Japanでは、SASコンサルタントからの技術的な質問について、電子メールまたはFAXでのテクニカルサポートを提供しています。

ライセンス情報の適用作業がうまくいかない場合、以下の情報を添えてご連絡ください。

Setup Utilityを用いた場合：

```
screen_log_[yymmdd].xxx  
setinit.log_[yymmdd].xxx  
setinit.sas_[yymmdd].xxx
```

} の3点

コマンドラインを用いた場合は：

```
setinit.sas  
!SASROOT/setinit.log
```

} の2点

FAXの宛先

03-3533-3781

メールの宛先

support@sas.com

メール本文には以下の情報を**必ず**追加願います。

NAME= お名前

SITE= SETINIT内に記載されているサイト番号

COMPANY= 会社名

PHONE=+81 (市外局番) 市内局番-番号 例： +81 (3) 1234-5678

PRODUCT=BASE

RELEASE=8.2

OS= OS名

ライセンス情報(SETINIT)適用の手引き UNIX版 リリース8.2 (TS2M0)編

2004年3月18日 第2版第1刷発行

発行元 SAS Institute Japan株式会社

〒104-0054 東京都中央区勝どき1-13-1 イヌイビル・カチドキ8F

電話 03(3533)3066

本書の内容に関する技術的なお問い合わせは下記までお願い致します。

SASテクニカルサポート

TEL: 03 (3533) 3877

FAX: 03 (3533) 3781